

5歳児 年間指導計画

		I 期（4月～5月上旬）	II 期（5月中旬～7月）	III期（9月～10月上旬）	IV期（10月中旬～12月）	V 期（1月～3月）
子どもの姿		・年長になったという喜びと自覚をもち、期待をもって登園している。 ・新しい保育者や場所に緊張感をもつ子どももいる。 ・新しい環境でもこれまでの友達と共に意欲的に遊びだす。 ・自分たちで場を整えたり、新たなクラスでのルールを考えたりするなど、新しい生活の場でみんなが気持ちよく過ごすための方法を考えようとする。クラスの中でお互いに声をかけ合う様子も見られる。 ・新しい環境で、以前と違うところや同じところを見つけながら遊びを進める。 ・自分の体調や必要なことに気付きながら心地よく過ごそうとする。 ・春の自然や身近な季節の移り変わりに気付き、生命の不思議さや大切さに興味をもつ。 ・これまで経験してきた園での生活や自然との関わりを思い出しながら興味をもって話題にしたり遊びに取り入れたりする。	・園のリーダーとしてのいろいろな役割や活動に取り組み、自信につながっている。 ・クラスの中で自分の思いを安心して出せるようになってきている。 ・クラスでの共通の目的に向かって話し合い、積極的に参画する。 ・気の合う友達同士の繋がりがより強くなり、遊びのイメージや目的、面白さを共有する。 ・クラス全体で生活を共にしている意識が芽生えてきている。 ・水遊びやプール遊びへの関心が高まり、友達と一緒に挑戦しようとする姿が見られる。また、水の楽しさとともに危険にも気付き、友達や自分の安全を考えて行動しようとする。 ・空想の世界が広がり、それを言葉や制作で表現する楽しさが広がる。 ・ひらがなや文字を書くことにも関心が出て、それを遊びに取り入れる。	・新学期の生活に期待と見通しをもって生活する。 ・長期休み明けや教育実習生がいるという環境で、不安定になる子もいる。 ・運動会に向けて、友達と体を使った遊びを楽しむ中で、身体を使った遊びを楽しみ、友達と一緒に演技をしたり、競い合ったりする。 ・気の合う友達だけでなく、大勢で遊ぶ中でクラスの友達の思いや考えに触れ、いろいろな考え方や捉え方があることを知り、共通の目的の達成のために折り合いをつけようとする。 ・計画的に取り組み、粘り強く目的に向かって努力するようになってきている。	・運動会を越えて、体を使った遊びがより充実し、道具を使った遊びや複雑な動きを必要とする遊びにも挑戦する。 ・自信をもって行動し、挑戦する。失敗しても自分で気持ちを立て直し、やり遂げようとする。 ・長期的な計画をたてて制作や遊びに取り組み、計画に合わせて行動する。 ・園外保育で地域の歴史や環境に触れ、地域のために自分達にできることを考えようとする姿がある。 ・保育者や友達から聞いた出来事にも興味や関心が広がり、自分なりの思いをもちながら様々なことについて知ろうとする。 ・空想の世界が広がるとともに、それを友達と共有し、物語をつくりだす。 ・生活の中で の出来事を通して、みんなが納得できる方法を友達と考えようとする。	・自分自身のよさを自覚し、自信をもって園生活を送るようになる。 ・自分の好きなことやしたいことを日々、繰り返し行う中で、結果として様々なことができるようになっていくことに振り返って気付く。 ・様々な個性ある友達のよさが互いに分かり、気の合う友達以外でも励ましあったり、助け合ったりする。 ・自分自身を客観的に振り返り、自分の成長を自覚する。 ・自分ができるようになったことや成長したことに気付き、自信や誇りをもつ姿が見られる。 ・これまでの園生活を振り返り自分の成長を感じながら、小学校生活への期待と自信をもって過ごそうとする。
ねらい	自分から	○年長になった喜びと自覚を持ち、新しい生活に期待をもって意欲的に取り組む。	○みんなで使う物や公共の施設を大切に使用することを理解して生活をする。 ○声を掛け合いながら、自分たちの生活を自分たちで進めていく。	○クラスの出来事や共通のめあてを理解し、自分なりに役割を見つけて積極的に取り組む。 ○怒ったり泣いたりしても気持ちを自分で立て直す。	○気持ちや行動を自律的に調整しながら活動に取り組み、クラスの中で充実感をもって過ごす。 ○体の使い方が難しい遊びにも諦めずに繰り返し挑戦し、達成感を味わう。	○自分で決めて行動し、責任をもつことで、自分の成長を自覚し、誇りを感じ、自信を深める。
	創造する	○新しい環境の中でも変わらないこと、変わったことに気付く。	○結果を予測して試したり工夫したりすることを繰り返し、よりよいものを目指して粘り強く取り組む。 ○時間をかけて丁寧に制作等に取り組み、自分のイメージを表現する。 ○数や図形、文字などを読みんだり書いたりして遊びや生活に取り入れる。	○物事を一つの見方だけでなく様々な角度から捉え、友達の考えにも触れながら、自分なりの考えをもって遊びや活動を発展させようとする。 ○目的に向かって、必要なことを考えたり見通しをもったりしながら、試したり工夫したりして計画的に取り組もうとする。	○失敗してもやり遂げようとする強い気持ちをもち、試行錯誤しながら長時間集中して取り組み、やり遂げる。 ○役割を決めて友達と細かな設定を共有しながら、想像の世界と一緒に楽しむ。	○成功体験が自信となり、希望をもって取り組む。 ○頭の中で試行錯誤を重ね、新しい考えを生み出したり、それを洗練せたりする。
	人とともに	○新たな場で、クラスのみんなが気持ちよく生活するため約束事やルールをつくり、互いに守ろうとする。 ○慣れ親しんだ大好きな友達と一緒に進級を喜ぶ。	○同じ目的や思いをもつ友達と一緒に考え、目的を実現させる喜びを感じる。 ○怖いけどやってみたいなど、自分の中にある矛盾する考えや気持ちを言葉にする。	○多様な人の異なる考えや価値観をすり合わせながら、折り合いをつけ、一緒に成し遂げる喜びを味わう。 ○複数の友達の意見を調整しながら、仲間で相談して何かをつくりあげたり、最後までやり遂げたりする。	○身近なところで公平、公正について考え、どのようにしたら不公平を解消できるのかを考える。 ○生活の中で起こる出来事を通して、みんなが気持ちよく過ごすためには互いの思いを大切にしようという思いを友達と考え、互いの思いを聞きながらよりよい関わり方を見いだそうとする。	○様々な個性ある仲間とともに、一緒に生活し遊んできたことを喜びをもって振り返ることができる。 ○仲間と共に過ごしてきた日々を共有し、お互いのよさを生かし合って生活や遊びを充実させる。
内容	健康	・年長児になった喜びを十分に感じ元気に体を動かして遊ぶ。① ・新しい環境に慣れ、健康で快適に過ごすために必要なこと（衣服・休息・道具の使い方）に気付いて進んで行き、安定感をもって生活する。②	・水分補給をしたり、衣服を着替えたりするなど、必要なことを自分で考えてする。① ・水遊びやプール遊びで全身を使って、気持ちを解放させて遊ぶ楽しさとともに、水の危険性についても知る。②。 ・クラスの友達と声を掛け合いながら自分たちで園生活を進める。③	・疲れたら休息する、暑ければ水分補給をして涼むなど、自分の体調に気付けてそれに応じた行動をとることができる。① ・運動会などを通して様々な動きを体験し、友達と気持ちを合わせる楽しさを知る。② ・負けて悔しいなどの情動を制御して、自分で立て直す力が育ってくる。③ ・十分に休息をとりながら、戸外で体を動かして遊ぶ。④	・フラフープや一輪車、縄跳びなど、体の使い方が難しい遊びにも諦めずに繰り返し挑戦する。① ・自分の健康に関心をもち、病気の予防に必要な活動（手洗い、うがい、生活リズムを整えるなど）を進んで行う。②	・こまや縄跳び、けん玉、一輪車などの手指の調整や全身運動との協調が必要な遊びにも挑戦して達成する喜びを味わう。① ・思う存分に園の環境を使って好きな遊びに取り組み、自分の成長を自覚し自信を深める。② ・園での生活を振り返るり、小学校での生活に期待を膨らませる。③ ・感染症について知り、予防に必要な行動を自分で行おうとする。④
	人間関係	（人間関係）・気の合う友達と一緒に自分の気持ちや考えを伝え合いながら遊ぶ。③（Iー内ー①） ・クラスの友達と楽しく生活する中できまりの大切さに気付き、守ろうとする。④	・みんなで使う物や生活の場を意識しながら、友達と声を掛け合い、きまりを守って生活しようとする。④ ・気の合う友達と一緒に、目的をもって一緒にやり遂げる満足感や達成感を味わう。⑤ ・気の合う友達と遊びの場や遊びに必要なものをつくり、自分達で考えたことを実現していく面白さを分かち合う。	・チーム対抗のルールのある遊びに取り組み、勝つ喜びや負ける悔しさなど様々な気持ちを体験し、仲間と分かち合う。⑤ ・運動会などを通して、クラス全体の共通のめあてを理解し、自分なりに役割を見つけて積極的に取り組む。⑥ ・お互いの思いを主張し合い、自分たちなりに折り合いをつける。⑦ ・異年齢の友達と関わる中で、相手に合わせた関わりができる。⑧ ・教育実習生と関わって遊ぶ中で、多様な人の存在や価値観を知る。⑨	・お楽しみ会に向けて、学級全体で協力し、それぞれのよさを発揮しながら協同して遊ぶ楽しさを味わう。③ ・仲間の様々な個性に触れ、それぞれの違いを認め合いながら生活する中で、みんなが気持ちよく過ごすための関わり方やきまりについて考え、友達と話し合いながら生活しようとする。④	・一緒に過ごしてきた仲間のよさを感じ、それぞれの違いや多様性を認め合う。⑤ ・様々な人との出会い（保護者、きょうだい、友達、保育者等、地域の人々）の中で、嬉しかったこと、楽しかったことを振り返り、小学校への生活へも期待をもつ。⑥ ・小学校に行くことで変わることだけでなく、変わらない人の存在や環境にも気付き、安心感をもって希望を抱く。⑦
	環境	・これまで親しんできた人や物、遊びの環境を生かしながら、新しいクラスの中でも安心して自分なりの遊びを展開する。⑤	（環境）・地域の自然や社会と親しむ中で、自分の生活とのつながりを知り、自分には何ができるかを考える。⑦ ・標識や信号機など身近な環境に目向け、周囲の様子に気を付けながら、安全に行動しようとする。⑧ ・日常生活の中で、数量・図形・位置・時間に関心をもち、生活の中で使って遊ぶ。⑨	・様々な国や国旗に関心をもち親しむなかで、人の世界の広がりを知る。⑩ ・この時期ならではの月の満ち欠けや雲の様子などの自然現象に目を向け、観察する中で変化や不思議さに気付き、関心を深める。⑪	・物事を多面的な視点から考えることを繰り返し、常に複数の要素を組み合わせて考える。⑤ ・秋の自然を体で感じ、遊びや生活に取り入れ、季節の移り変わりに気付く。また、木々の変化や実りの様子を比べたり、違いに目を向けたりする中で、自然の不思議さや仕組みに関心をもつ。⑥ ・奈良の歴史や文化、動植物に触れ、興味関心をもって、自分にできることを考え、関わろうとする。⑦	・困難に直面しても、自分の経験や本などで調べたことと照らし合わせて考え、解決策を思いつき実行する。⑧ ・霜や氷、雪など冬の身近な自然事象に触れ、変化や不思議さに関心をもちながら、冬の生き物の様子にも目を向け、多様な生き方があることに気付く。⑨
	言葉	・新しいクラスの中で、困ったことや分からないことを互いに尋ね、頼りにし合う。⑥ ・不安なことや楽しいことなど、その時の気持ちを言葉で表現して伝える。⑦ ・絵本に書かれた文字や保育室の中の文字や数字をいくつか読むことができ、自分でも書くこととしてみる。⑧	・クラスでの共通の話題について、自分の考えをもち、伝えようとする。⑩ ・怖いけどやってみたいなど、自分の中にある矛盾する考えや気持ちを言葉にする。⑪ ・文字などを使いながら思ったことや考えたことを伝える喜びや楽しさを感じる。⑫	・これまで親しんできた文字や記号などを使いながら、思ったことや考えたことを整理し、複数の視点を読まえながら見通しをもって取り組もうとする。⑫	・物語の世界に没頭して味わい、想像と現実の世界を行き来し、豊かな体験を膨らませていく。⑧	・園生活を振り返って言葉や文字を使って表現し、その気持ちや思いを伝え合い、次の生活への見通しをもつ。⑩ ・小学校、休み時間、校庭、授業、放課後など、小学校で新しく出会う言葉に、絵本等を通じて親しむ。⑪

			(表現)・春の生き物や自然と触れ合い、感性を豊かにする。⑨	・共有した体験を絵や制作で表現する面白さを味わうとともに、クラスの仲間の表現を鑑賞し、多様な表現を理解し合う。⑬ ・時間をかけて丁寧に制作等に取り組み、よりよいものを目指して作品をつくり上げる。⑭	・運動会に向けて取り組む中で、クラスのみなど同じイメージを共有し、それを動きや言葉などで表現する面白さを味わう。⑬ ・繰り返し取り組む必要のある楽器や歌などにも粘り強く取り組みながら、表現を深めていく。⑭	・クラスの友達と音楽表現、身体表現、製作・絵画など様々な表現活動を楽しむ。⑨ ・かいたりつくったりしたものを地域の人々などに広げ、多くの人に知ってもらう。⑩ ・クラスの友達と音楽表現や身体表現、制作・絵画などさまざまな表現活動を楽しみながら、イメージを共有して表現を広げ、試行錯誤しながら粘り強く最後まで取り組む。⑪	・お別れ会などで、自分の気持ちを他者に伝える様々な表現法を知り、形にする。その際、相手に気持ちや思いを届けるにはどのような工夫が必要なのかを、相手の立場に立って考える。⑫				
ね 養 ら 護 い の	生命の保持	・春の自然と触れ合った感動や喜びを絵や制作、音楽や体の動きなどで表現する。その際、これまで経験してきた様々な素材や道具から、何を使って表現するとよいのかを考えて使う。⑩	○夏の安全や衛生について必要なことを子どもと共に考え、水分補給や汗の始末などに自ら取り組めるようにする。	○健康・安全に生活するために自分で考え判断して行動できるよう、確認したり友達と話し合ったりする機会をもつ。	○この時期に健康に過ごすために必要なことを子どもたちに知らせ、自ら進んで取り組むことができるようにする。	○自分の健康に関心をもち、健康な生活に必要なことを進んで行うことができるようにする。					
	情緒の安定	○年長になった喜びと不安な気持ちを丁寧に捉え、一人一人の様子に合わせて配慮する。	○それぞれの意欲的な様子を受け止め、安定した気持ちで過ごせるようにする。	○様々な気持ちを体験する際に、一人ひとりが感じていることに丁寧に寄り添い、支えることで様々な情動を経験することができるようにする。	○自分たちで考え進めていく活動を通して、自己を発揮したり、気持ちをコントロールしたりできるようにする。	○卒園や就学に向けての期待や不安を受け止め、安定した気持ちで過ごせるようにする。					
環境構成◆ 援助 ▲		◇年長だけが使える遊具やスペースなどを用意し、挑戦したり自分で選んで存分に体を動かすことができる環境を整える。① ▲年長児になった喜びや挑戦しようとする気持ちを受け止め、安心して体を動かしながら意欲的に遊べるように関わる。① ◇年長になったことを感じられる掲示や活動を整え、友達と自然に話したり一緒に遊んだりできる場をつくる。これまでのつながりを思い出せる写真や共通の道具を用意し、仲間意識が育つようにする。② ◆年中児からしていた遊びの環境を事前に用意しておく。②⑤ ▲新しい環境に不安や緊張を示す子どもの気持ちを丁寧に受け止め、安心できる人や場につなぎながら、落ち着いて過ごせるようにする。② ▲保育者も遊びの仲間入りをし、一緒に遊ぶ中で信頼関係を築く。②⑤⑥⑦ ◇少人数で関わりやすい遊びのコーナーや素材を用意し、友達と一緒に試したりつくったりできる場を整える。③⑤ ▲自分の思いや考えを互いに伝え合う姿を見守り、その様子を認め、さらに伝え合いが深まるように、問いかけたり共感したりする。③ ▲生活の中で行き違いや困りごとが生じた際には、その場の状況や気持ちを丁寧に聞き取り、みんなが心地よく過ごすためにはどうしたらよいかを一緒に考える。④ ▲子どもが困りごとや疑問を言葉で表そうとする姿を受け止めたり支えたりし、友達とのやり取りを通して尋ね合い、伝え合う経験が深まるようにする。⑦ ◇絵本や生活に関わる掲示、表示など、文字や数字に親しめるものを保育室の中に分かりやすく配置し、日常の中で目に留まりやすい環境を整える。⑧ ▲子どもが文字や数字に気付いたり読もうとしたりする姿を受け止め、必要に応じて言葉を添えながら、自分でも書いてみようとする気持ちにつなげる。⑧ ◆春の草花や生き物に出会える場や素材を用意し、観察や気付きを表現に生かせるように、道具や展示を整える。⑨ ◇小動物とのそれぞれの子どもたちのかかわりの様子に合わせて、必要なものを用意し、遊びに取り入れたり、飾ったり、絵で表したりなどが実現できるようにする。◇子どもたちがすでに知っていて扱いやすい素材や道具を用意しておき、自由に表現できるようにする。⑩		▲雨や暑さ対策をする。また、子どもたちとも話し合って体調管理に気を付ける。①②③ ▲プールの危険や安全な行動について子どもと一緒に確認する。② ◇みんなで使う場所や物の扱い方が分かりやすく伝わるよう、配置や表示を工夫し、友達と協力して生活をする環境を整える。④ ▲プール遊びでは、顔つけやけのびなど段階的に挑戦できる深さやスペースを設定し、少しずつ挑戦する姿を認めたり励ましたりする。⑤ ▲当番活動などの役割を子どもと一緒に確認し、自分たちで進められるようにする。③④ ◇大きな素材や多様な材料をそろえ、友達と協力して遊ぶ場や道具をつくれるスペースを確保する。⑥ ◆子どもが興味や関心をもったことで地域と関わりがもてることや関連付けられるようなことがあれば、保育者から提案してみる。(地域へ買い物に出かける、地域の方に話を聞く、公共の施設に出掛ける、など)⑦⑫ ▲何度も地域に出掛け、標識や信号の意味に興味がもてるように声をかける。気付いて止まる・左右を見るなどの行動を認め、自分で考えて行動できるようにする。⑧ ◇日々の生活で出会う、時計・標識・簡単な地図・距離など、数量・図形・時間に触れられる素材を保育室に用意する。⑨ ▲年長DAYに向けて意見の違いを認めながら聞き合いを支える。子どもの思いを行事の見通しにつなげられるように働きかけ、主体的に参加しようとする気持ちを育てる。⑩ ▲水が怖いがやってみたいというような揺れ動く気持ちを受け止め、その思いを言葉で表せるように関わる。① ◇子ども同士で話し合った内容のドキュメンテーションに文字を書き添えたり、文字を通して伝わる面白さや楽しさを感じられるようにする。⑫ ▲平面や、立体など多様な表現方法や素材を十分に用意し、感じたことや考えたことを自分で選択し工夫して表現できるようにする。⑬ ◇つくった作品を飾ったり、取り組んだ活動を写真に撮って掲示したりする。またそれについて、保育者も一緒に語る時間を設ける。⑬ ◇継続してつくっている作品や遊びの場はそのまま置いておく。⑭		◇残暑も厳しいので、体調管理に気を付けるとともに、園生活に戻ってきた楽しさを味わえるように戸外でしっかり体を動かす設定をする。①② ▲友達と動きを合わせたり、うまくいかない経験を重ねたりする過程を受け止め、繰り返し試す中で一緒に動く心地よさや達成感につながるようには支えたり励ましたりする。② ▲運動会に向けた内容を子どもたちも一緒に考えて練習をする。②⑤⑥⑬ ▲チーム対抗の活動では、子どもたち一人一人が感じる悔しい気持ちや嬉しい気持ちなどを十分に受け止め、共感的にかかわることで同じチームの友達同士で気持ちを共有し、様々な情動を体験できるようにする。▲チーム対抗の競技なども提案する。③④ ▲子ども同士の話し合いを大切にし、時には不合理に思える結論でも、話し合いの結果を尊重する。⑥⑦ ◇異年齢の子どもとの関わりを積極的に設け、関わり方を保育者がモデルとして示す。⑧ ▲実習生と関わり一緒に活動できるように、子どもが興味のあることを入れた紹介をするなどして関係をつないでいく。⑨ ◇国旗や、様々な国の絵本やWeb教材を用意する。⑩ ▲子どもや実習生などの意見を取り上げる際に、「同じこと」「違うこと」を整理して伝える。⑧⑨ ◇家庭でも月を観察できるように、資料を配布する。⑪ ◇話し合いをする際は、保育者がホワイトボードなどに要点をまとめ、絵や文字、記号などで整理して可視化する。⑫ ◇子どもたちにとって魅力的な運動会などでも使える楽器や歌を用意し、日頃の遊びの中でも取り組めるようにする。⑬		◇フラフープや一輪車、縄跳びなど、挑戦しがいのある遊びや技を用意する。① ◇感染症とその予防に必要な活動(手洗い、うがい、生活リズムを整えるなど)を掲示する。② ◆お楽しみ会の内容を子どもたちと一緒に考える。③④ ▲活動に取り組んだり、話し合いをしたりする際には、常に多面的な視点から情報を提示したり、整理したりする。⑤ ◇分類したり、比較したりが一目で分かるように秋の自然物の飾りを工夫する。⑥ ▲子どもたちが活動を立案し、地域とつながったり、地域のために何かしたいという思いを実現できるように情報を収集し、地域の関係者と繋がりをもっておく。⑦⑩ ▲東大寺や鹿苑への遠足の前には専門家の話を聞き、地域の歴史や文化への関心を深めて臨めるようにする。帰ってきてからは、自分たちが未来のためにできることは何かを話し合う。⑦⑧ ◇想像の世界が広がるような物語絵本を複数用意する。また、絵本の世界を再現できるような衣装や場面をつくることのできる材料を保護者にも協力を得て集めておく。⑧ ◇子どもたちの活動(大仏の制作、写真など)を地域の人にも見てもらったり聞いてもらったりする機会を設ける。⑩ ◇子どもたちが、長期にわたって取り組み、表現活動を達成できるような場や時間を確保する。⑪		◇こま・けん玉・縄跳びなど、継続して挑戦できる遊具を使いやすい場所に配置し、繰り返し取り組めるようにする。①② ◇方法などを互いに教え合えるように子ども同士をつないだり、得意な保育者や保護者に見せてもらう。①⑥ ▲園での出来事や楽しかったことなどを話し合うことで、園生活を振り返り、自分自身の成長を感じられるようにする。また、クラスのつながりや友達といえる楽しさなど、クラスで過ごす心地よさを子どもたちと共に味わい、卒園までの時間を大切に過ごす。②③ ◇写真や動画などで自分たちの成長を振り返り、話題にし、それぞれのよさを言葉にして伝え合う。③⑤ ◇手洗い・うがいなどの手順を見て分かるように掲示する配置する。また、予防についての絵本や資料を用意する。④ ◆小学校の授業の見学をしたり、小学校にまつわる話をしたり絵本を見たりすることなどを通して、小学校への期待を高められるようにする。③⑩ ◇年長として園で果たしてきた役割を次の学年へと引き渡していく。⑤ ▲困った場面や経験や調べたことを思い出せるよう問いかけ、子どもが自分で解決策を考え実行できるように支える。過程を丁寧に認め、友達との学び合いが広がるように橋渡しする。⑦ ▲雪の結晶などを顕微鏡で見たり、水をつくったりして、うまくいく場合といかない場合の原因を一緒に考え、モノが凍る仕組みを知る。⑧ ◆卒園に向けて、園内の様々な人と過ごす時間をもち、感謝の気持ちやお別れの寂しい気持ちなどを感じ、自分なりに言葉や行動で表せるようにする。⑥⑪ ◇園生活を思い出しやすい写真や記録を掲示し、言葉や文字で書き表せる素材を揃え、グループやクラスで発表して伝え合えるようにする。⑨ ▲お別れ会では、子どもたちが自分の思いや気持ちを発表できる場を設ける。その時の手段や表現方法は様々なものを認める。⑪	
食育		▲食事の準備や片付けなどについて子どもたちと話し合い、自分たちでできることを考え、クラスのみんなで楽しく食事ができるようにする。		◇夏野菜の栽培を通し、責任をもって水やりをして、育て、生長を予測し楽しみにしたり収穫を喜んでたりできるようにする。 ◇自分たちで調理する機会を設け、給食の調理員さんにつくり方を教わったり、自分たちで材料を揃えたりする活動を通して、調理する人への感謝の気持ちや食べ物を大切にする気持ちが育まれるようにする。		▲食べ物の栄養と体や健康との関連に興味や関心をもち、バランスのよい栄養をとる大切さを知り、自らいろいろな食材を食べてみようと思えるようにする。		▲サツマイモ堀りでは、農場の方に栽培方法を聞く機会をもち、食物が土や水、太陽の光などが必要であることを理解できるようにする。また、食の安全性や食と健康とのつながりを意識するきっかけとする。		◇お別れ会等で、年下の友達や園の職員と一緒に給食を食べる機会をもち、感謝の気持ちを伝えるとともに、一緒に食べることの楽しさを改めて感じられるようにする。 ◇年度末には、お世話になった給食調理員さんへの感謝の気持ちを言葉や制作物などで表し、伝えられるようにする。	
健康・安全		◇生活リズムや体調に配慮し、個々のペースで過ごせる雰囲気、空間、時間づくりを心がける。 ◇アレルギーや既往歴など保護者や前担任と確認し、園全体で把握し対応できるようにする。 ◇新しい保育室や大型遊具の使い方、年下の子どもと遊ぶ時の導線やルールなど、園全体で共有し、安全に遊ぶことができるようにする。		▲梅雨の気候や、酷暑にも対応し、水分補給や休息が適宜とれるようにに配慮する。 ◇雨天時や高温多湿など、天候に合わせた遊び場の工夫や安全に留意する。 ◇プール遊びでは、熱さ指数、気温、水温、水質管理の他、職員の監視体制を徹底し、安全に遊べるようにする。		◇興味や関心に応じてほしいことを存分に楽しめるように、安全な場や時間の確保、用具や遊具の数の調節をする。 ◇プール遊びで縄やボール、鬼ごっこの場合などそれぞれ安全に遊べる広さを確保し、子ども同士の衝突などに留意する。		◇病気の予防に必要な活動(手洗い、うがい、生活リズムを整えるなど)を進んで行えるように話をし、その大切さを掲示物等で示す。 ◇養護教諭の話を聞く機会を設け、インフルエンザやノロウイルスなどの知識を学び、健康な生活に必要な行動を具体的に理解できるようにする。		◇室内の温度や湿度を確認しながら、必要に応じて、換気や加湿を行う。 ▲健康で安全な生活を送るために、自分で行動できるようになったことが、自信につながるように機会を捉えて励ましていく。	

なかよしとの連携	◇新しい環境に安心して移行できるよう、教育時間の遊びや生活の流れをなかよしタイムと共有し、場や道具の使い方をできるだけ同じようにする。 ▲子どもの不安や緊張、友達関係の様子をなかよしタイムに丁寧に伝え、どちらの時間でも落ち着いて過ごせるよう支える。	▲なかよしタイムでの子どもの遊びと生活の様子を共有し、子どもたちの遊びや生活や循環し、安定するようにする。 ◇夏休み前に、なかよしタイムの担当者と長期休み中の1日の生活について丁寧に相談する。	【夏休み】 ▲夏休みには、定期的に長時間保育に担任も入り子どもたちの様子を確認する。また、個々の育ちの姿をなかよしタイムの担当者と共有し、夏ならではの遊びを楽しむ中で、学びと生活の好循環を目指す。	▲夏休み中に見られた子どもの姿をなかよしタイムの先生と共有し、環境構成に活かす。	◇編み物や縄跳びなど根気強く取り組む遊びが増えてくるので、なかよしタイムでも継続して取り組めるようにする。また、なかよしタイムの続きも教育時間にできるようにし、循環の中でじっくりと深めていけるようにする。	【冬休み】 ▲短い期間ではあるが、年末やお正月といった行事ごとに触れる機会も多い時期である。家庭の行事、体調等で生活が不安定にもなりやすいので、なかよしタイムとの連携を確実に進める。	▲卒園式が終わっても登園してくる子どもたちがいる。会えなくなった友達をさみしく感じる気持ちを支えながら、園で過ごす最後の時間を充実させる。
小学校との接続 ※年長のみ	・就学に向けての1年間の流れをお手紙等で伝え、見通しをもって年長クラスで過ごすことができるように保護者支援を行う。	・小学校の流れるプールを借りて泳ぐ経験を通して、小学校への憧れや期待を高めたり、親しみを感じられるようにする。 ・奈良市の就学相談について、情報を共有する。 ・子どもの進学先となる様々な小学校等と連絡を取れる体制を築く。	・附属小学校の面接調査では、担当者と打ち合わせを丁寧に行之い、安心して臨むことができるようにする。また、小学校の雰囲気に触れ、進学への見通しや安心感をもてるようにする。 ・就学前健診の前に、進路に悩んでいる保護者や支援が必要な子どもの保護者には、様々な進学先を提示したり、進学に際しての手続きなどを早めに伝えたりする。	・小学校周辺の自然に触れながら落ち葉拾いに出かけ、校区や学校環境への親しみを深める。 ・必要に応じて、支援シートなどを作成し、小学校と子どもの情報を共有する。	・小学校の授業を見学したり、校内マラソン大会の応援に参加したりする中で、小学校への期待を高め、自信をもって就学に向かうことができるようにする。		
家庭との連携	・進級当初は、子どもの様子を細かく共有し、環境が変わってからの一人一人の状況を共有し、保護者との信頼関係を築いていく。 ・連休の過ごし方や、交通マナーなどについて子どもたちと話し合った内容を伝える。	・水遊びや戸外遊びが多くなるので、健康状態についての連絡を密にする。 ・栽培した夏野菜を家庭に持ち帰り、家の人と話したり、一緒に調理して味わったりできるように提案する。	・夏の間に家庭でしたことなどを共有し、家庭と園との生活の往還の中で、子どもたちの育ちを支えられるようにする。	・個人懇談では、子ども一人一人の成長を保護者と共有するとともに、伸びようとしている姿や課題について共通認識をするようにし、先の見通しを保護者がもつことができるようにする。	・卒園に向けての取り組みや今までの振り返り(写真の掲示)を通して、ともに成長を喜び合えるようにする。 ・小学校の生活や学習について、親子で就学を楽しみにできるよう支える。		
	・保育参観や懇談会、クラスだりを通して、子どもたちが楽しんでいることや頑張っていることを保護者にも共有し、家庭でも園でしていることが話題に上がるようにする。/ ・行事のねらいやプロセス、行事を通して育ったことを保護者に伝え、子どもの成長を共有し、より実感できるようにする。 ・子どもたちの中で話題になっていることをドキュメンテーションなどで紹介することで、家庭でも話題にしてもらったり、活動に必要な材料を依頼したり、場合によっては活動に参加してもらうなどして、子どもたちの学びが促されるようにする。						
行事・地域との連携	始まりの会/入園式/個人懇談/こどもの日の会/クラス懇談会/避難訓練/身体測定/尿検査	遠足/参観・クラス懇談会/水遊び・プール遊び/七夕の会/終わりの会/おはなしの会/避難訓練/身体測定/内科検診/耳鼻科検診/歯科検診/年長DAY	教育実習(4週間)/バス遠足/ウインドアンサンブル演奏会/運動会/避難訓練/身体測定	世界遺産学習/遠足(東大寺・鹿苑)/サツマイモ掘り/参観/クラス懇談会/創立記念日/附中交流/個人懇談/お楽しみ会/終わりの会/おはなしの会/避難訓練/身体測定	始まりの会/芸術鑑賞会/豆まきの会/参観・クラス懇談会/附小交流/お別れ会/卒園式/おはなしの会/避難訓練/身体測定		